

1 テーマ

私たちの未来を形にしよう！

2 サブテーマ

期待に応える実践を行うために事務職員の成長を考える

3 研究提案概要及び討議の柱

中教審における「チーム学校」にかかる議論で触れられているように、学校事務職員への期待はかつてないものがあります。その期待に応える方策について様々な検討や取り組みがなされており、群馬県公立小中養護学校事務研究会としても、これまでの調査結果等を踏まえ、求められている業務として学校預かり金会計業務と情報管理に主眼を置いた実践を取り上げます。この取り組み過程で浮かび上がった課題は、実践を支えるための「学びの必要性」です。

また、全県下で施行され9年目を迎えた共同実施におけるOJTは、若手事務職員に確かな力を与えている一方で、教育支援や学校運営参画などへの関わり方にまだ課題を残しています。加えて共同実施においてリーダーとなる責任者にとっては、共同実施組織及び組織内の学校に対するマネジメントやコーディネートの役割を担ううえで生じる悩みがあります。共同実施の進展に伴って浮かび上がってきた関わり方や役割についての問題は、職階に応じた「成長の道筋」がこれまで見えづらかった点にあると考えます。

「学びの必要性」と「成長の道筋」という人材育成の課題と向き合うために、私たちは目指す事務職員像を描き、研修体系を整備していくことを通じて、学んだことを成長につなげていく流れを提案していきます。

○討議の柱

- I キャリアに応じた学校運営への関わり方について
- II 他職種との役割分担をどう捉えていくか